

ご 挨拶

和歌山県立笠田高等学校 校長 森下 兼男

和歌山県立笠田（かせだ）高等学校のホームページにアクセスいただき、ありがとうございます。

本校は今年、その前身である笠田町立笠田高等家政女学校として、1927（昭和2）年創立以来、95年の歴史を刻むこととなります。学校規模は現在計13学級（総合ビジネス科3、情報処理科3、普通科7）であり、生徒数は、男子172名、女子331名の計503名となっています。

校訓は、「自主」・「友愛」・「健康」であり、生徒は礼儀正しく純朴で、時には健気でもあり、日々の授業も集中して取り組んでいる非常に落ち着いた雰囲気 학교です。

現在、次のような特色ある教育活動の取組を行っています。

- ◎ 10分間の朝の読書
- ◎ 1年生全員対象の週例テスト
- ◎ 3年生全員対象の面接指導
- ◎ 検定取得（総合ビジネス科、情報処理科）
- ◎ 商業科生徒による販売実習やパソコン講座
- ◎ 週2回の7限授業
- ◎ 少人数授業や習熟度別授業
- ◎ 大学訪問をはじめとした1年から始まる進路学習
- ◎ クラブ活動の強化・充実
- ◎ 地域との連携

進路状況については、地元和歌山大学をはじめ、同志社大学や関西大学、近畿大学などの関西の4年制大学や短期大学、近年志願者が増加した医療・看護系を中心とした大学や専門学校などに約85%の生徒が進学をしています。また、約15%の生徒が就職しており、地元企業を中心に、毎年希望者のほぼ全員が合格内定を得ています。

クラブ活動も活発であり、運動クラブが10、文化クラブが12ある中で、ほぼ全生徒が加入し、日々熱心に活動しています。運動クラブでは、ソフトボール部が通算49回のインターハイ出場を果たすなど、常に全国レベルを維持しています。また、少林寺拳法部や陸上競技部、ソフトテニス部、卓球部なども全国大会や近畿大会に出場する強豪です。文化クラブでは、吹奏楽部や珠算・電卓、情報処理、簿記、ワープロなどの商業系クラブが全国大会や近畿大会に出場しています。

地域に対しても「販売実習」や地元かつらぎ町との連携事業において、「パソコン講座」や「産業祭り活性化プロジェクト」等への参加を通して高い評価をいただいています。また、平成29年度から県内の他の学校に先駆け「学校運営協議会」を設置し、地域連携をより一層押し進めており、今後も地域の方々の協力を仰ぎながら生徒、保護者、教職員が一体となって、本校が目指す教育に邁進したいと考えております。

未来に向かって躍進する笠田高等学校に、皆様の力強いご支援とご協力をお願いいたします。